



精いっぱいの真心を込めて

植物を栽培

山本春子さん(埼玉・56歳)

年末が近づくと街なかに出回り、冬の定番植物となつているポインセチア。12月3日にほくさい農業協同組合行田中央支店で行われた第18回行田市農産物品評会で、ツリー型のポインセチアが行田市議会議長賞を受賞した山本春子さんを紹介します。



21歳で花卉園芸農家に嫁いだ山本さんは、結婚後10年ほど家事や子育てに専念してました。そして30歳を過ぎた頃、本格的に農業に携わるようになりまして。ポインセチアの他にもハーブゼラやガゼニアなど、一年に30種類以上の植物を育てています。栽培は家族で協力し合つて行っていますが、鉢植えの状態を見ながら市場ごとに品種や数を決めて出荷するのは山本さんの役割となつていそうです。

んが育てている植物の中で最も手が掛かるといふポインセチアは、葉を赤く色付かせるために光を遮断する短日処理を行うなど、半年もの間、常に気を配る必要があります。「大変ですが、出荷するときは喜びに変わります。それがやりがいでもあるんですよ」と山本さんはほほ笑みます。

また、花卉の栽培以外にも力を入れているのが、小・中学校や高校などからの農業体験学習や農業実習の受け入れ。体験や実習を通じて、植物に直接触れ、育てる楽しさを味わってもらいたいそうです。「植物は愛情を注いだ分だけ応えてくれる。達成したときの喜びをストリートに感じられるのも農業の魅力だと伝えたいですね」と話します。

すでにポインセチアの栽培で高い評価を得ている山本さんですが「ツリー型のポインセチアを思い描いた通りの形に作り上げていきたい。そのためには、経験者から学んだりして技術を磨きたいです」とさらなる意欲をのぞかせます。「商品というより作品という気持ちで、手元を離れる瞬間まで精いっぱい真心を込めて育てていきたい。植物を観賞することでも癒やされ、幸せを感じてもらえたらうれしいです」と優しいまなざしで植物を見つめていました。山本さんの育てた植物が、今日もいろいろな場所で大くさんの人を笑顔にしているんですよ。

はじめまして



平成28年3月生まれのお子さんを募集します

○1月4日(水)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、2月2日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成28年1月生まれのおともだち ★★★



佐藤 優莉菜ちゃん(長野)
平成28年1月18日生まれ
父・淳哉さん 母・陽子さん
「わが家のいやしの存在」



新井 さくらちゃん(岡山)
平成28年1月25日生まれ
父・新さん 母・綾子さん
「笑顔最高♡
元気に育ってね」



黒崎 眞ちゃん(長野)
平成28年1月1日生まれ
父・祐さん 母・美加さん
「すくすく大きくなあれ♡」



二本柳 湊仁ちゃん(長野)
平成28年1月18日生まれ
父・建さん 母・綾美さん
「元氣いっぱい
大きくなつてね♡」



児玉 空恋ちゃん(城西)
平成28年1月3日生まれ
父・和さん 母・真澄さん
「いつもニコニコ
わが家のアイドル」



二本柳 陽愛ちゃん(長野)
平成28年1月13日生まれ
父・大城さん 母・遥さん
「元氣いっぱい遊ぼうね」

ぎょうだの会社を
クローズアップ!!

有限会社東洋シビル

確かな技術による測量と設計で現場を支える



会社プロフィール

代表取締役 小嶋 幸男
【事業内容】 測量、土木設計
【住所】 長野4-29-41

測量と土木設計を専門とする有限会社東洋シビルは、代表取締役の小嶋幸男さんが建設コンサルタント会社に勤務していた頃に培った経験を生かし、昭和57年4月に創業しました。同社は関東から東北までの地域を中心に、自治体の公共測量や利根川など河川工事の起工測量、シヨッピングモールや病院の新築工事に関わる確定測量や開発設計業務を主に受注。起工測量とは工事前に現場の状態を把握する測量、確定測量とは土地の境界や面積を決定する測量のことで、市内では市役所の駐車場や市道、農道の整備などに携わっています。経験に裏打ちされた正確で迅速な測量は建設業者からも厚い信頼を得ており、現場作業の根幹を担っています。

また、土木設計の分野では「イージーラーメン橋」の設計に取り組んでいます。「イージーラーメン橋とは、橋の上部と支柱部分を剛結合させた門型ラーメン構造をもつ橋のことです。従来の橋に比べて地震に強く、工期の短縮やコスト削減も期待できます」と小嶋さんは特徴を説明してくれました。た。イージーラーメン橋の構造は県内に多い掘り込み式河川と相性が良く、老朽化を迎えた橋の架け替えが増加している近年、注目を浴びているとのこと。市内では酒巻導水路で採用されており、他にも熊谷市など新たに3橋の設計を手掛けてきたそうです。今後イージーラーメン橋を普及させていきたいという同社。さらに、平成28年から国土交通省が推進する情報通信技術を用いた建設事業を支援する取り組み「E-Construction(アイ・コンストラクション)」への対応にも力を入れています。「アイコンストラクションは、これまでの2次元測量から3Dスキャナーを使った3次元測量技術で、今年度より国土交通省の築堤工事において採用されています。当社においても社員研修を積極的に進めており、早期に新たな技術を取り入れて作業の効率化を図りたいと考えています」と話してくれました。時代の流れを見据え、測量・設計技術の向上に努め続ける同社は、これからも多くの現場を支えてくれることでしょう。

私の作品

俳句

- 南河原 今村 文女
老いてなほ二人三脚障子貼る
- 荒木 藤田 栄之
時雨るるや流れに印す跡もなく
- 矢場 高田みつ子
冬紅葉類に山気の触れてるし
- 忍 丸山 連子
山茶花の紅の咲きつぐティータム
- 城南 橋本千枝子
ありのまま生きて今日あり寒椿
- 持田 伊藤 洋子
菊の香やいま青春と夫は笑む
- 荒木 森田 静
逆らへば北風なほも強くなり
- 荒木 手島 一海
山茶花や馬の埴輪の耳塞ぐ
- 荒木 藤田 明枝
冬夕焼心の窓に落し込む
- 富士見町 鈴木スイ子
霧晴れて低き連山ととのへり
- 持田 小倉 繁三
座禅へと急ぐ道々霧深し
- 持田 斉藤 協二
小春日や大公望の背は伸びて
- 富士見町 森 節子
同窓の友は彼の世へ小夜しぐれ
- 持田 二瓶 弘子
新米のひかりそのまま塩むすび
- 荒木 小林 康男
年玉を子等より受くる歳となり
- 清水町 柳沢 紀子
退院の夫を迎へる冬座敷
- 持田 長田 義子
菊花展どれも優劣つけ難し
- 樋上 吉澤とし子
玄関に遣せし義父の水仙花
- 谷郷 柳瀬 久
冬うらら米寿祝いに招かれる
- 長野 石川 文子
文化祭一所離れぬ老夫婦
- (三沢 一水 監修)

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。